

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○	○	○		○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社GameWith	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	245名
事業概要	ゲーム情報等の提供を行うメディア事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務規程
テレワーク担当部署	経営管理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	245名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 新型コロナウイルス感染防止のため、2020年3月30日から2020年4月5日までをフルリモートワーク(在宅勤務)とした。
- 2020年4月6日以降からは原則在宅勤務の方針を継続する一方、限定的に社員の出勤及び取引先訪問を行う方針の働き方を決定。

テレワークの概要・特徴

【対象者】

- 全従業員。

【勤務体制】

- 最大週5日の在宅勤務とする。
- 出社が求められる業務、出社して対応する事が望ましい業務についてのみ出社の上業務を行う。
- また、通勤に当たっては、時差出勤を活用。

【社外関係者との打ち合わせ】

- 当社グループの従業員がお客様を訪問する場合、お客様にご来社いただく場合の双方において案件の重要性・必要性をもとに是非を判断する。

【社内関係者との打ち合わせ】

- オンラインツールを活用し、対面の際は大勢での打ち合わせは避けるようにする。
- また、上記社内外での面談の際にはマスクを着用し、参加者と一定距離を保ち、短時間で終了するように努める。

【テレワークにかかる備品支給や手当について】

- 社内アンケートを実施した結果をもとに、月5,000円の「在宅勤務手当」のほか、必要な備品の現物支給、Wi-Fiの貸し出しやモニターの自宅手配などを実施
<https://gamewith.co.jp/3038>

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

【電子化】

- 郵送対応・捺印対応等ある事務・アシスタント業務を削減すべく電子契約を推進。9割が電子契約化し、契約に伴う捺印行為や郵送対応等削減。また印紙税等も削減。
- ICTを活用し、人事労務系の書類をペーパーレス化。入社手続きから労働条件変更、評価制度のFB対応など、全てオンラインかつDXIにて対応できる体制を整えた。
- 勤怠管理システムを利用し、週次で労働時間を管理。時間外労働が多い部署の部署長と本人に対してアラートをだすことによって、長時間労働を防止する仕組みを構築

【人事制度】

- 人事制度をリモートワークに合わせて調整、アウトプット(成果)重視の評価や高い成果に対する短期間での評価及び報酬への反映+その他今後の経営方針に伴う調整、また月1の進捗MTGを行い、リモートワーク化でも進捗を把握できるような仕組みに変更。

【株主総会】

- バーチャル株主総会での開催。株主への安全配慮だけでなく、準備段階においてもWeb会議等を駆使しながら準備を行った。

【オフィス移転】

- 完全密封型テレブースや簡易型テレブースの設置を行い、在宅勤務と出勤者をつなぐスペースを設けた。出社人数が減り、従来よりオフィス面積を縮小し座席はフリーアドレスとした。よって経費削減にも繋がった。

【ネットワークの強化】

- 社外からのVPN接続時の速度や安定性を向上させることで、在宅勤務でもストレスなく業務を遂行できるように、ネットワーク回線の強化やネットワーク構成の変更、接続方法変更を実施した。